

# 公益財団法人鳥取市文化財団

## 平成31年度事業計画

### 公益目的事業

1. 鳥取市に関係した文化・観光・産業に関する資料や文化財の調査、研究、収集、保存及び公開を行うとともに教育普及啓発活動を行い、もって郷土愛の醸成を図り、市民文化の発展及び地域振興に寄与することを目的とする事業。

#### (1) 指定管理施設の管理事業

指定管理者として、鳥取市設置の下記指定管理施設を鳥取市と締結する指定管理基本協定書及び年度協定書に基づき維持管理する。

- ① 鳥取市歴史博物館
- ② 鳥取市因幡万葉歴史館
- ③ 仁風閣・宝扇庵
- ④ 鳥取市あおや郷土館
- ⑤ 鳥取市青谷上寺地遺跡展示館
- ⑥ 鳥取市あおや和紙工房
- ⑦ 城下町とっとり交流館

#### (2) 展示開催事業

鳥取市の文化等にふれあう機会を提供し、これに対する関心や興味を喚起するため、文化・観光・産業に関する資料を活用し、常設展示、特別展示、企画展示等の展覧会を企画・立案・開催する。

#### (3) 教育普及啓発事業

鳥取市の文化等をより身近に感じてもらうため、外部有識者や当法人の学芸員による講演会・講座、文化・歴史・産業に関する体験学習等を企画・立案・開催する。

#### (4) 調査、研究、収集及び保存事業

鳥取市に関係した文化・観光・産業を広く発信するため、各種事業を展開するに当たり、その基礎となる資料の調査、研究、収集を行い、その成果を展示や体験学習に活用するとともにこれを整理保存し、蓄積していく。

#### (5) 施設貸与事業

上記指定管理施設の効率的な活用を図るとともに、市民等に能動的に施設を活用してもらうことで施設の魅力をさらに高めることを目的に施設の貸与を行う。

#### (6) 関連物品販売事業

鳥取の文化・観光・産業に関係した物品や各施設で実施する展覧会、教育普及啓発事業に関連した物品の販売を行う。

2. 埋蔵文化財の発掘調査及び整理保管を行い、もって郷土愛の醸成を図り、市民文化の発展及び地域振興に寄与することを目的とする事業。

(1) 埋蔵文化財の発掘調査及び出土遺物の整理保管事業

鳥取市に点在する遺跡の発掘調査を実施し、発掘により出土した遺構や遺物の調査、研究、整理、保管を行い、その成果を報告書にまとめるとともに市民に還元する。

各施設の具体的な事業計画は以下のとおり。

【公益目的事業 1】

鳥取市歴史博物館（やまびこ館）

区分	事業名	期間	事業内容
施設管理 事業	指定管理	通年	鳥取市との協定に基づき鳥取市歴史博物館の管理・運営を行う。
展示開催 事業	常設展示の追加・更新	通年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・常設展示室のパネル追加・更新。</li> <li>・故障機器類の修繕・交換。</li> <li>・パネル展等の開催。</li> <li>・企画展・特別展の第2会場利用。</li> </ul>
	共催展 「第38回中国七宝協会展」(仮称)	平成31年 4月13日～ 5月19日 (予定)	長い歴史、文化とともに歩んだ七宝の優美な輝きと培われた技術。市民文化に融合した総数約90点の作品を紹介し、市民文化のさらなる発展に寄与する。
	共催展 「鳥取県指定文化財展」(仮称)	平成31年 8月31日～ 9月29日 (予定)	平成30年度に新規指定された鳥取県指定の文化財を広く紹介する。 主催：鳥取県教育委員会
	特別展 「豊臣期と宮部」 (仮称)	平成31年 10月12日～ 11月24日 (予定)	これまで鳥取であまり注目されてこなかった天正9年(1581)から慶長5年(1600)までの時代、いわゆる豊臣期と言われる時代の因幡について取り上げる。宮部継潤と亀井茲矩を中心に、この時代の因幡国内の情勢や、因幡の武士も動員された朝鮮出兵、宮部家が没落するきっかけとなった関ヶ原の合戦など当時の重大事件についても紹介する。
	共催展 「第21回鳥取県児童生徒地域地図発表作品展」	平成31年 11月10日～ 11月24日 (予定)	夏休み期間に子どもたちが取り組んだ、地図作品の数々を一堂に紹介する。 主催：鳥取県社会教育研究会

区分	事業名	期間	事業内容
	企画展 「佐治の名品」 (仮称)	平成 32 年 1 月 18 日～ 3 月 22 日 (予定)	佐治歴史民俗資料館の収蔵する歴史資料を中心に展示公開する。鳥取市佐治町は、国登録有形民俗文化財の「佐治の板笠製作用具と製品」、鳥取市指定有形民俗文化財の「うるしかきの用具」、鳥取市指定無形民俗文化財の「佐治谷話(口承文芸)」、鳥取県指定天然記念物の「辰巳峠の植物化石産出層」など特色ある文化財のある地域である。
	平成 32 年度以降の 展示準備	通 年	吉川史料館（山口県岩国市）の収蔵資料を中心とした展覧会にかかる事前準備の調査を行う。なお、本展覧会は、岩国市と鳥取市の姉妹都市提携 25 周年として開催を予定する。
教育普及 啓発事業	おうちだにアカデ ミー	通 年 (毎月 第 4 土曜日)	当館学芸員だけでなく、県史編さん室や市教委の方々の最新の調査研究成果を聞く機会や、県内の文化財に関わる技術者の方を招いたワークショップを設け、市民の郷土への理解・関心をより深めてもらう。
	おうちだにワーク ショップ 「ありがとうのカー ドを作ろう！」	平成 31 年 5 月・6 月・ 9 月 (予定)	小学生から一般を対象に、感謝の気持ちを込めた手作りのグリーティングカードを作ってもらおう。 (母の日・父の日・敬老の日に開催)
	おうちだにワーク ショップ 「地図作り教室」	平成 31 年 7 月 (予定)	鳥取県地域社会研究会との協働による、おうちだにを題材とした地図づくり教室。夏休み初め頃に実施する。
	おうちだにワーク ショップ 「和本づくり」	平成 31 年 7 月 (予定)	県内の資料修復家に指導を頂き、和本作りを体験する。
	おうちだにワーク ショップ 「ハンコづくり」	平成 31 年 12 月 (予定)	年始の準備に向けて役立つハンコづくりのイベント。石材またはゴムを使って、オリジナルのハンコを作ってもらおう。
	山城合戦イベント	平成 31 年 5 月 (予定)	市教委文化財課と協働で、主に子どもたちを対象に、史跡である久松山・太閤ヶ平への関心を深めてもらう。
	自由研究を助け隊	平成 31 年 7 月 (予定)	各学芸員の専門分野を活かし、小・中学生の夏休みの自由研究のヒントを提供する。
	歴史散策 「海の日記念バス ツアー・福部町」	平成 31 年 7 月 15 日 (予定)	海の日を記念し、実際に現地に赴き、解説を交えながら、福部町の歴史を体感するバスツアーを行う。
	歴史散策 「バスツアー」	平成 31 年 11 月 (予定)	展覧会の内容に合わせた歴史散策バスツアーを実施する。
	鳥取県埋蔵文化財 センター「古代ま つり」出展	平成 31 年 8 月 (予定)	博物館活動への理解・関心を深めてもらうため、約 600 人の親子連れが訪れるイベントに出展協力する。
	因美線開業 100 年 記念鉄道展示・イ ベント	平成 31 年 12 月 14 日～ 12 月 23 日 (予定)	12 月 20 日の因美線開業 100 年を記念し、鉄道関係の資料等の展示を行うとともに、週末は鉄道模型ジオラマ運転会や館内をミニトレインで走行するイベントを実施する。

区分	事業名	期間	事業内容
	ことりり舎映画上映会	平成32年 3月(予定)	春のおもてなしイベント時期に合わせ、映画上映会を開催し、地域の文化活動を市民に紹介する。
	おもてなしイベント	平成31年 5月・7月・ 9月・11月 平成32年 3月 (予定)	近隣の公園、神社を訪れた市民が気軽に博物館に足を運ぶ機会を設け、より親しみを感じてもらおう。
	博物館実習生の受入	平成31年 夏(予定)	博物館学芸員資格取得に必要な実習として、資料取扱講習、模擬展示企画作成等を行う。
	中学生職場体験の受入	平成31年 5月(予定)	市内中学校の生徒を受入、学芸業務、受付業務、広報作業、展示案内、ミュージアムグッズ販売など博物館活動の体験を行う。
	学校連携事業	通年	博学連携プロジェクトチームと連携し、各学校へ働きかけ来館をうながす。常設展示を活用しながら、学習の一環として、積極的に足を運んでもらう契機とする。
	博物館年報	通年	平成30年度の博物館活動を冊子にまとめ、報告する。
	出前ミュージアム講座	通年	博物館で定番メニューを用意し、出前で講演を行う。
	パネル・ミュージアム事業	通年	財団で共通パネルを制作し、公民館等へ貸し出す。
調査・研究 収集・保存 事業	資料整理	通年	未整理資料の整備・目録化を進める。
	流通図書・古書購入	通年	市民からの問い合わせや、諸事業の企画・立案、情報収集に必要な図書を整備する。
	データベース構築	通年	館蔵資料の活用強化を図るため、現在は台帳で管理している館蔵資料についてデータベースの構築を行う。
	館蔵資料の修復・保存	通年	収蔵資料の保存・活用のため、劣化・損傷している資料の修復・修繕並びに資料の有効活用に資する対応を行う。ただし、寄託資料は対象外とする。
	IPMメンテナンス	通年	主に清掃・温湿度調整などの環境管理と薬剤などを用いた防除を組み合わせ文化財に加害する害虫をなくし、カビによる文化財への目に見える被害を防止する。
	継続調査	通年	博物館活動全般についての調査・研究。常設展示運用のため、因幡地方の歴史・文化の調査を継続的に実施する。

区 分	事 業 名	期 間	事 業 内 容
	準備調査	通 年	将来的な事業計画のため、準備調査を行う。(秋田他)
	館蔵資料の写真撮影	通 年	資料の二次利用(図版等)、劣化防止、情報公開に努めるため、新たに受け入れた博物館資料から選別して記録化(写真撮影)し、複製を作成して利用の便を図る。
	研修参加	通 年	各種研修に参加し、学芸員の資質向上や知識習得を図る。
	資料購入	通 年	「寄贈」や「寄託」では入手しにくい資料を資料収集の一環として購入し、博物館活動の基本である資料の整備・充実を図る。一定額以上の資料購入にあたっては、資料評価委員会の開催を要請し、協議検討を行う。
常 設 展 示 更 新	常設展示更新展示調査・実施設計・展示製作業務	平成 31 年度	開館以来 18 年が経過し、施設の老朽化と資料の蓄積が進んだことから、開館 20 周年に向けて常設展示のリニューアルを行う。鳥取市の指導・監督のもと、基本設計に基づき常設展示リニューアル展示調査・実施設計・展示製作業務を行う。
施設貸与 事 業	特別展示室の貸出	通 年	展覧会等開催のために特別展示室の利用を希望する団体等に対し貸出をする。
	研修室の貸出	通 年	会議・研修・勉強会等のために研修室の利用を希望する団体等に対し貸出をする。
関連物品 販売事業	ミュージアムショップの運営	通 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当館図録をはじめ、オリジナルグッズや関連書籍、地元工芸品等を来館者に対して販売する。一部は鳥取市運営のインターネットショッピングモール「とっとり市」でも販売する。展覧会開催期間は展覧会関連書籍やグッズ等を期間限定で販売する。</li> <li>・イベントに応じ、館外にて図録等の販売を実施する。</li> <li>・オリジナルキャラクターを使用したストラップ等来館記念品として販売を促進する。</li> <li>・地域振興の観点から鳥取市国府町上地地区で生産された酒米を活用した清酒「京ヶ原」販売及び泡盛「仁風」の酒類販売を実施する。</li> </ul>

## 鳥取市因幡万葉歴史館

区 分	事 業 名	期 間	事 業 内 容
施設管理 事業	指定管理	通 年	鳥取市との協定に基づき鳥取市因幡万葉歴史館の管理・運営を行う。
	受託事業	通 年	国府史跡ネットワーク案内広場の維持・管理を行う。
展示開催 事業	常設展示	通 年	万葉歌人大伴家持の紹介をはじめ、万葉・王朝時代の歴史文化、因幡国庁を中心とした古代因幡の歴史や、麒麟獅子舞等の民俗芸能を紹介する。
	<b>開館 25 周年記念 特別展</b> 「安野光雅の世界 ～心のふるさと飛 鳥・奈良～」(仮称)	平成 31 年 4 月 20 日～ 6 月 9 日 (予定)	開館 25 周年記念事業。 世界的に著名な安野光雅氏の絵画展を開催する。 飛鳥や奈良の本を刊行されており、その中から作品を選んで展示する。「心のふるさと」ともいうべき古都の情景を、安野氏の絵を通じて感じていただく。
	<b>企画展</b> 「書道展」 (仮称)	平成 31 年 7 月上旬～ 9 月中旬 (予定)	昨年度、大伴家持生誕 1300 年に因み、因幡国守でもあった大伴家持に関わる展示を次年度計画で取り組んできた。今年度は、鳥取県書道連盟の協力を得て、連盟役員による万葉集に収められている大伴家持の歌を作品にした書道展を開催する。
	<b>開館 25 周年記念 企画展</b> 「山本恵三～21 世 紀の軌跡～」 (仮称)	平成 31 年 10 月上旬～ 11 月中旬 (予定)	開館 25 周年記念事業。 国府町出身の著名な洋画家・山本恵三氏（独立協会）の作品を展示する。以前、鳥取県立博物館等で「その源流と軌跡、21 世紀への展望」という副題で山本氏の展覧会が開催されており、このたびの展覧会では、それを受けて 21 世紀の軌跡を紹介する。
	<b>巡回展</b> 「第 12 回池田家墓 所写真コンクール 作品展」	平成 31 年 12 月上旬～ 平成 32 年 1 月中旬 (予定)	池田家墓所の写真コンクールの作品展覧会。 万葉歴史館への入館者には池田家墓所見学者も多く、国府町に所在する史跡の活用、周知活動の一環として開催する。 主催：史跡鳥取藩主池田家墓所保存会
	<b>共催展</b> 「鳥取書道代表十 人展」(仮称)	平成 32 年 1 月中旬 (予定)	鳥取を代表する書道家十人による作品展。 旧正月万葉茶会にあわせて開催する。 主催：宝林堂
	<b>展覧会</b> 「カルチャー教室 生徒作品展」 (仮称)	平成 32 年 2 月下旬～ 3 月中旬 (予定)	平成 31 年度因幡万葉歴史館カルチャー教室の受講生の作品を展示する。
	次年度以降の展示 準備	通 年	次年度以降の展示・イベント・普及事業の企画、立案を行うとともに、鳥取市歴史博物館や他施設、関係機関との連携、協力をして調査研究、調整を行う。

区分	事業名	期間	事業内容
教育普及 啓発事業	体験講座 「万葉人に変身！ まが玉づくり&万 葉衣装体験」	平成 31 年 4 月 27 日～ 5 月 6 日 7 月 20 日～ 8 月 15 日 (予定)	古代のアクセサリーと呼ばれるまが玉づくりと万葉衣装を身につけて、万葉集の時代を感じ興味を深めるとともに、記念撮影を行う。
	体験講座 「まんれき！ クイズラリー」	平成 31 年 4 月 27 日～ 5 月 6 日 7 月 20 日～ 8 月 15 日 (予定)	館内及び万葉と神話の庭をじっくり見学しながら万葉歴史館が用意したクイズを解いてもらい、万葉歴史館や万葉時代の素晴らしさを再認識していただく。
	体験講座 「子ども草木染め 工房」	平成 31 年 7 月下旬 (予定)	万葉時代にも行われていた草木染めの体験学習講座を行う。身近な植物を染料にして、布に絞りを入れて染める。 指導：国府町内草木染グループ
	体験講座 「ジオサイトバス ツアー」(仮称)	平成 31 年 10 月 (予定)	史跡梶山古墳の一般公開日に合わせて、国府町内の史跡などのジオサイトを巡り、地域の歴史を学ぶ契機とする。
	体験講座 「寄せ植えづく り」	平成 31 年 12 月初旬 (予定)	古来より縁起物といわれる花木を用いて、新年を迎えるのにふさわしい寄せ植えづくりを行う。
	旧正月万葉茶会	平成 32 年 1 月下旬 (予定)	万葉集最後の歌が詠まれた旧正月に、大伴家持の歌が書かれた茶碗で抹茶を振る舞い旧正月を祝う。
	体験講座 「短歌作り教室」	平成 32 年 1 月下旬 (予定)	大伴家持が歌を詠んだ旧正月に、講師指導のもとに短歌を作る。
	万葉集講座 「万葉集を読む」 (仮称)	平成 31 年 年 4 回 (予定)	既存する日本最古の歌集「万葉集」を初心者にも分かりやすく解説する講座。 山陰にゆかりの深い歌人について講師を招聘して解説する。
	歴史講座(仮称)	平成 31 年 年 2 回程度 (予定)	国府町や古代に関する歴史について、講師を招聘して解説する。
	第 22 回因幡の傘踊りの祭典	平成 31 年 8 月 17 日 (予定)	県東部の傘踊りや手笠踊りの団体などが、「因幡の傘踊り」の発祥の地に一堂に集い豪華に競演する。傘踊り体験コーナーや出店、祭典終了後には打上花火を行う。
	第 22 回万葉集朗唱の会	平成 31 年 10 月 20 日 (予定)	大伴家持が詠んだ歌 470 余首を参加者全員が万葉衣装に身を包み、思い思いにリレー方式で歌い継ぐ。万葉食の出店や茶席、地産地消コーナーを設置する。
	第 20 回曲水の宴	平成 31 年 10 月 20 日 (予定)	庭園の遣水に盃を浮かべ、流れにあわせて詩歌を詠む万葉時代に行われた貴族の優雅な歌遊びを再現する。

区 分	事 業 名	期 間	事 業 内 容
	雅楽・舞楽の宴	平成 31 年 11 月 (予定)	伝承館を舞台として雅楽・舞楽の宴を実施する。舞楽、伎楽が因幡万葉歴史館の常設展示のテーマの一つでもあり、当館への理解を深める契機とする。
	カルチャースクール事業	通 年	天平ろまんホールにて、ボタニカルアート・水彩画・パッチワーク・短歌・俳句・ストレッチ・ヨーガ整体・陶芸教室などのカルチャースクールを開催する。また、新規事業の企画を随時行っていく。
調査・研究 収集・保存 事 業	調査・研究	通 年	万葉集、大伴家持、伊福吉部徳足比売及び国府町ゆかりの人物や民俗、館蔵資料の調査・研究を継続して行う。
	収集・保存	通 年	各事業の企画・立案や、情報収集に必要な書籍や資料を収集し、整理・保存する。寄託・寄贈資料等の受入を行い、資料の収集・保存を行う。
施 設 貸 与 事 業	施設貸与	通 年	天平ろまんホール、伝承館等施設の貸し出しを行う。
	展示室貸与	通 年	民俗展示室、企画展示室を貸し出し、文化活動の展覧会及び発表会に活用する。
関連物品 販売事業	ミュージアムショップの運営	通 年	万葉に関する商品や鳥取市の文化・観光・産業に関連した物品の販売を行う。 来館者の憩いの場として、喫茶業務を行う。

## 仁風閣・宝扇庵

区 分	事 業 名	期 間	事 業 内 容
施 設 管 理 事 業	指定管理	通 年	鳥取市との協定に基づき仁風閣・宝扇庵の管理・運営を行う。
展 示 開 催 事 業	企画展 「甦る鳥取城」	通 年	鳥取城跡を目的にご来館されるお客様に対して、鳥取池田家や鳥取城に関する展示を開催する。解説ガイドサービスも行う。
	巡回展 「第 12 回池田家墓所写真コンクール作品展」	平成 31 年 9 月 7 日～ 10 月 14 日 (予定)	「池田家墓所写真コンクール」に応募された作品を展示する。併せて池田家の歴代藩主及び墓所の様子を紹介する。併せて鳥取三十二万石お城まつりとも連携を図る。 主催：史跡鳥取藩主池田家墓所保存会



区分	事業名	期間	事業内容
教育普及 啓発事業	「仁風閣誕生記念 フェア～Birthday Performance2019 ～」	平成 31 年 4 月 27 日～ 5 月 12 日 (予定)	仁風閣が完成した明治 40 年 5 月 10 日に合せ、 『国指定重要文化財仁風閣』を活用した事業を開催する。 ＜城トークイベント＞ 5 月 3 日 (予定) ＜クイズラリー＞ 5 月 11 日～ 5 月 12 日 (予定) ＜オペラコンサート＞ 4 月 29 日 (予定) ＜人力車運行、写真撮影＞ GW 期間中 (予定)
	「秋の仁風閣フェア 2019」	平成 31 年 10 月 27 日～ 11 月 4 日 (予定)	仁風閣が国指定重要文化財として一般公開された 昭和 51 年 11 月 3 日に合せ、『国指定重要文化財 仁風閣』を活用した事業を開催する。 ＜茶道入門&トークイベント＞ 11 月 3 日 (予定) ＜クラシックバレエ&コンサート&朗読＞ 10 月 27 日 (予定) ＜写真教室＞ 11 月 4 日 (予定)
	「仁風閣サロンコ ンサート 2020」	平成 32 年 3 月 22 日 (予定)	定期的に演奏会を開催し、地域の音楽文化レベル 向上へ貢献していく。
	「鳥取城講座」 (仮称)	平成 31 年 6 月 22 日 10 月 26 日 (予定)	鳥取市歴史博物館の「おおちだにアカデミー」及 び「特別展 豊臣期と宮部」と連携して鳥取城講 座を開催する。
	トワイライトエク スプレス「瑞風」立 寄り事業	平成 31 年 春～秋	西日本旅客鉄道株式会社が平成 29 年春より運行 をしている寝台列車「トワイライトエクスプレス 瑞風」の仁風閣立寄り受入事業として、麒麟獅子 舞、民藝喫茶、学芸員解説、特別入室を実施する。 実施日：立寄り時間 45 分 年間 17 回程度 (予定)
	仁風閣・城跡周辺 「観光客誘致事 業」	平成 31 年 4 月・11 月 (予定)	宝扇庵でのお茶席や人力車運行、写真撮影などの 事業を実施し、仁風閣への観光客誘致を促進する。 また、外国人旅行者や団体ツアー客の誘致を拡大 するため、日本旅行と新規基本契約を締結し仁風 閣 PR を強化する。
	人力車運行・写真 撮影事業	平成 31 年 春～秋	仁風閣周辺を人力車で巡って、歴史・文化の紹介 や観光情報を提供する。また、運行日を事前に婚 礼業者等に告知し、写真撮影等に活用してもらう。 地元鳥取人力車倶楽部と連携して実施する。
	「お茶席」	平成 31 年 春～秋	宝隆院庭園や宝扇庵において茶道体験教室を行 う。 協力：淡交会
	「人前結婚式」	通 年	仁風閣主催の人前結婚式を提案し、新たな仁風閣 の活用を図り、来館者増加及び PR を促進する。
	「仁風閣ライトア ップ」	毎週土曜日 特別期間	毎週土曜日と久松山一帯の「桜まつり」への協力、 大型連休、クリスマス等の特別期間に夜間ライト アップを実施する。

区分	事業名	期間	事業内容
施設貸与 事業	仁風閣の貸出	通年	市民団体等による展覧会、イベント、結婚式場、成人式・結婚式等による記念写真撮影などへの貸し出しを行う。
	宝扇庵の貸出	通年	お茶会、結婚式控え室、記念写真控え室などへの貸し出しを行う。
関連物品 販売事業	ミュージアムショップの運営	通年	国指定重要文化財「仁風閣」に関連する商品や鳥取市の文化・観光・産業に関連した物品の販売を行う。

### 鳥取市あおや郷土館

区分	事業名	期間	事業内容
施設管理 事業	指定管理	通年	鳥取市との協定に基づき鳥取市あおや郷土館の管理・運営を行う。
展示開催 事業	常設展示 ロビー活用	通年	山陰海岸ジオパーク展示コーナーとして「鳴り砂」「夏泊の海女漁」「因州和紙」「青谷上寺地遺跡」などについて紹介するとともに、ジオパークに関する情報発信を行う。
	企画展 祝！ジオパーク再認定 「鳥取市西部地域のジオサイトの魅力展」（仮称）	平成31年 4月20日～ 5月26日	世界ジオパーク再認定（予定）の山陰海岸ジオパークの内、鳥取市西地域のジオサイトの魅力を写真とともに歴史資料や古写真等で紹介する。
	共催展 「あおや文化まつり2019」	平成31年 6月1日～ 6月30日	青谷町文化協議会に所属する団体による作品を展示する。 主催：青谷町文化協議会
	企画展 「大清末忠人コレクション展」（仮称）	平成31年 7月13日～ 8月25日	清末忠人先生がコレクションする貝殻、化石、昆虫標本、鳥・獣のはく製を展示して、青谷町をはじめ鳥取市に生息する生物を知る機会とする展覧会を行う。貝殻での工作や昆虫の標本作りなどのイベントも開催する。小・中学生など子どもたちに興味を持ってもらうため夏休み期間中に開催する。
	共催展 「あおいちギャラリー」（仮称）	平成31年 9月14日～ 10月6日	青谷町内外の作家・グループ及び町内小・中学校児童による作品展示、会場内での各種体験教室を行う。青谷地域にぎわい創出事業として4年目の開催で、昨年に引き続きあおや郷土館も共催として会場提供、作品キャプション制作等に協力する。 主催：青谷地域にぎわい創出実行委員会

区分	事業名	期間	事業内容
	企画展 「あおや郷土館収蔵絵画作品展」 (仮称)	平成 31 年 10 月 12 日～ 11 月 10 日	当館で収蔵する資料のうち、絵画資料を展示し紹介する。開館以来寄贈や寄託により収蔵された風景画や肖像画、版画などを展示する。
	「青谷高等学校授業作品展」	平成 31 年 11 月 16 日～ 12 月 8 日	青谷高校と連携し、授業の成果である美術・工芸作品を展示発表することで学校、地域の連携を図るとともに、生徒の今後の学習意欲を高める一助とする。
	企画展 「郷土のカメラマンによる写真展 2019」	平成 31 年 12 月 14 日～ 平成 32 年 1 月 13 日	開館以来継続している、鳥取市気高・青谷・鹿野地域在住の写真愛好家が撮影・制作した四季の風景や人物などの写真作品を展示する。
	「第 15 回鳥取市児童生徒交流絵画展」	平成 32 年 1 月 18 日～ 2 月 16 日	鳥取市気高・鹿野・青谷町の小・中学校児童生徒、及び県立青谷高等学校美術部生徒の制作した絵画作品を広く展示、紹介し市民が地域の子どもたちの創作活動の成果に接する機会を設ける。
	企画展 「宮本栄一似顔絵・イラスト展」 (仮称)	平成 32 年 2 月 22 日～ 3 月 22 日	鳥取市青谷町在住の似顔絵画家でありイラストレーターの宮本栄一氏による展覧会を行う。宮本氏は似顔絵国際大会優勝、TV チャンピオン(テレビ東京)の「似顔絵職人選手権」出場などの実績を持つ。これまでに手掛けてきた似顔絵やイラスト作品をはじめ、最新作など一堂に紹介する。
	次年度以降の展示準備	通 年	次年度以降の展示・イベント・普及事業の企画、立案を行うとともに、調査研究、関係機関との調整を行う。
教育普及 啓発事業	体験イベント 「3 館缶バッジスタンプラリー」	平成 31 年 4 月 27 日～ 5 月 6 日	「鳥取市西部地域のジオサイトの魅力展」関連事業 あおや郷土館、青谷上寺地遺跡展示館、あおや和紙工房の 3 館を回り、各館で和紙、缶バッジのパーツを集めて、最後に郷土館にて缶バッジマシンで和紙の缶バッジを完成させる。
	体験イベント 「螺鈿風きらきらレジンアクセサリー作り」	平成 31 年 5 月 GW 中の 3 日間	貝殻の内側の真珠層(虹色光沢部分)を砕いたものやグリッターをフレームに入れてレジンを固め、螺鈿風のストラップを作る。各日 30 名(午前・午後各回 15 名まで)で行う。
	体験イベント 「昆虫標本作り」	平成 31 年 7 月 13 日～ 8 月 25 日 のうち 1 日	「大清末忠人コレクション展」関連事業 展覧会開催にちなみ、また夏休みの宿題製作の手助けとして、昆虫標本作りを行う。
	体験イベント 「貝がらのウインドチャイム作り」	夏休み期間中の 1 日	「大清末忠人コレクション展」関連事業 青谷海岸の貝殻やビーズを使用し、ウインドチャイムを製作する。
	体験イベント 「ジェルキャンドルで青谷の海を作ろう！」	平成 31 年 6 月～10 月の 毎月 1 日	青谷海岸の鳴り砂(鳴らなくなった砂)を利用して、貝殻やビー玉などを入れ、ジェルキャンドルで青谷の海を表現してもらおう。ジェルキャンドルの中に入れるイルカや魚などの小物は、オープンクレイ(オープンで焼いて固まる粘土)で参加者に思い思いのものを作ってもらおう。各日午前・午後各 1 回(各回 5 名、計 50 名)で行う。

区分	事業名	期間	事業内容
	体験イベント 「千歯こきで脱穀 してみよう！」	平成31年 8月下旬の 1日	夏休み期間を利用して、あおや郷土館が収蔵する千歯こきで実際に稲の脱穀体験を行う。倉吉発祥の千歯こきの理解を深め、生業を知る機会とする。
	「鳥取ブラस्पレイヤーズによる新春コンサート」	平成32年 1月11日～ 1月13日 のうちの1日	郷土のカメラマン展開催中の展示室で、鳥取市在住（青谷町在住・在勤を含む）の金管楽器奏者から成る「鳥取ブラस्पレイヤーズ」によるコンサートを行う。新春イベントとして公演を行う。
	「動物ポンポンづくりイベント～ハリネズミ編～」	平成32年 1月18日～ 2月16日	毛糸を使って動物を作るワークショップ。期間中の土曜に実施し、1日20名、参加無料とする。
	体験イベント 「宮本栄一似顔絵 教室・イラスト教室」	平成32年 3月中旬の 1日	「宮本栄一似顔絵・イラスト展」関連事業 宮本栄一氏を講師に招きイラストのワークショップを開催する。午前は似顔絵の書き方教室、午後はイラスト教室と2つの内容で行う。
	「わくわく体験学習受入」	平成31年 5月（予定）	青谷中学校2年生生徒を受け入れ、博物館事業の体験を通して、社会への認識を深めてもらう。
	「青谷町魅力発信連携」	通年	青谷町総合支所、青谷町ガイドネットワークと連携し、青谷町の歴史、文化、ジオパークなど地域の魅力発信のためガイドの紹介や案内（窓口業務）などを行う。
調査・研究 収集・保存 事業	調査・研究	通年	力士塚、郷土の偉人、民俗資料関係の調査を行う。
	館蔵資料の整理・確認	通年	収蔵資料の再整理・確認、貸出を行う。
関連物品 販売事業	関連書籍等の販売	通年	あおや郷土館に関する図書及び財団刊行物などの関連商品の販売を行う。

### 鳥取市青谷上寺地遺跡展示館

区分	事業名	期間	事業内容
施設管理 事業	指定管理	通年	鳥取市との協定に基づき鳥取市青谷上寺地遺跡展示館の管理・運営を行う。
展示開催 事業	常設展示	通年	鳥取県教育委員会、鳥取県埋蔵文化財センターと連携し、青谷上寺地遺跡の出土遺物を展示する。年1回展示替えを行う。
	ロビー展示 「県内文化財地図 パネル展示」	通年	鳥取県内の文化財所在地や発掘調査地などの情報をパネルで展示する。

区分	事業名	期間	事業内容
	ロビー展示 「青谷上寺地遺跡 整備計画展」 (仮称)	平成 31 年 6 月中旬～ 12 月下旬	平成 30 年度までに策定された青谷上寺地遺跡の 整備基本計画の内容をパネルで紹介。青谷上寺地 遺跡の将来像を伝える。
	ロビー展示 「2019 発掘調査速 報展」	平成 32 年 3 月～5 月	青谷上寺地遺跡の平成 31 年度の発掘調査の成果 を速報版として展示する。
	次年度以降の展示 準備	通 年	次年度以降の展示・イベント・普及事業の企画、 立案を行うとともに、調査研究、関係機関との調 整を行う。
教育普及 啓発事業	体験学習	通 年	「弥生のかご作り」「土器・土笛作り」「麻ひもコ ースター作り」、「鑄造体験」「滑石勾玉づくり」な ど子どもから大人まで楽しめる体験を行う。
	ゴールデンウィーク 体験イベント	平成 31 年 GW 期間又は その前後	「削って染めて、オリジナル勾玉をつくろう」(仮 称) 滑石を削って勾玉をつくり、染料で染めて思い思 いの勾玉にするイベントを行う。
	あおいちイベント	平成 31 年 6 月～11 月頃	6 月から 11 月にかけて開催されるあおいちイベ ント時に展示館で体験メニューを取り揃えて実施 する。
	夏休み体験イベン ト	平成 31 年 夏休み期間中	「琥珀勾玉づくり」「弥生の琴をつくろう」「ジェ ルキャンドルで海を作ろう」「あおや夏まつり小物 づくり」など小・中学生を対象に夏休み自由研究 課題をサポートする。
	秋季体験イベント	平成 31 年 10 月頃～ 11 月頃	講師を招いて「パステルアートで上寺地を描こう」 「トンボ玉づくり」を行い、子どもにも遺跡に親 しんでいただく機会とする。
	むきばんだ史跡公 園交流事業	平成 31 年 9 月頃	むきばんだ史跡公園まつりに参加し、出張パネル 展、体験コーナーを設け青谷上寺地遺跡を情報発 信する。
	来館者サービス事 業	通 年	来館者に和紙に遺跡の出土品をスタンプした記念 のメモ帳を進呈する。子育てパスポート、トリパ ス等入館チケットを提示された方に記念品を進呈 する。
	青谷上寺地遺跡友 の会支援事業	通 年	青谷上寺地遺跡友の会の活動を支援するととも に、体験メニューの開発などを共同で行う。
調査・研究 収集・保存 事業	資料収集	通 年	青谷上寺地遺跡に関する図書及び調査成果を使用 して製作された図書、論文、考古学の基本図書な どの収集。
関連物品 販売事業	関連書籍等の販売	通 年	青谷上寺地遺跡に関する図書及び関連商品の販売 を行う。

## 鳥取市あおや和紙工房

区 分	事 業 名	期 間	事 業 内 容
施設管理 事業	指定管理	通 年	鳥取市との協定に基づき鳥取市あおや和紙工房の管理・運営を行う。
展示開催 事業	常設展示	通 年	伝統的な和紙の製法、道具類や現代の和紙製品や使い方などの展示を行う。また、体験工房において、流し漉きなど和紙の伝統技術の実演を随時行う。
	<b>企画展</b> 「野鳥写真で伝える因州和紙の魅力」(仮称)	平成 31 年 4 月 20 日～ 6 月 23 日 (予定)	東京都在住の野鳥写真家本田純一氏と鳥取県在住の野鳥愛好家野田勝利氏の作品を中心に、因州和紙にプリントした野鳥写真展を開催し、写真用紙としての因州和紙の可能性と魅力を発信する。
	<b>企画展</b> 「ちぎり絵展～和紙の愉しみⅨ～」(仮称)	平成 31 年 7 月 6 日～ 9 月 1 日 (予定)	「全国和紙ちぎり絵サークル第 19 回全国展」に出品された作品の中から約 50 点を選抜するちぎり絵作品展を行う。ちぎり絵芸術の普及と因州和紙の需要の広がりを図る。
	<b>企画展</b> 「因州和紙ボールペンアート展Ⅲ～風～」(仮称)	平成 31 年 9 月 14 日～ 11 月 24 日 (予定)	カナダを拠点に多数の都市で活動している現代美術家 永本冬森氏の作品展を行う。第 3 回目として「風」をテーマに展示する。芸術・アート作家と地元の和紙業者や因州青谷こうぞ紙手すき和紙保存会とのコラボレーションにより、因州和紙の可能性の開拓を図るとともに、因州和紙の魅力発信していく。
	<b>企画展</b> 「第 16 回鳥取書道女流選抜展 青谷展」	平成 31 年 11 月 30 日～ 12 月 15 日 (予定)	各社中から選抜された鳥取県東部を中心に活躍する女性書道家たちによる書の作品を展示する。「書」を通じて因州和紙を広くアピールし和紙の普及を図る。
	<b>企画展</b> 「第 16 回因州和紙あかり展」	平成 32 年 1 月 12 日～ 3 月 24 日 (予定)	和紙あかり作品の全国公募展。鳥取県特産の因州和紙など使用したあかり作品、オブジェなどの照明作品を展示する。
	ロビー展示	通 年	鳥取県指定無形文化財「因州青谷こうぞ紙」に関する資料や因州和紙に関連した創作活動などの発表の場として、エントランスホールにおいて随時展示を行う。
	次年度以降の展示準備	通 年	次年度以降の展示・イベント・普及事業の企画、立案を行うとともに、調査研究、関係機関との調整を行う。
教育普及 啓発事業	「紙すき体験」	通 年	紙すき体験、紙すき体験で作った和紙を使ったランプシェード作り、卒業証書作り(鳥取県因州和紙協同組合青年部と共同)などをはじめ、いろいろな和紙(加工)体験メニューを提供する。地区公民館、小学校等の実習イベントの誘致にも努める。

区分	事業名	期間	事業内容
	「スライドトークショー」	平成31 4月(予定)	「野鳥写真で伝える因州和紙の魅力展」関連事業 本田純一氏、野田勝利氏の野鳥のスライドトーク ならびに両者による和紙写真の制作談義を行う。
	「折り紙体験」	平成31 4月～6月 (予定)	「野鳥写真で伝える因州和紙の魅力展」関連事業 青谷町の和紙折り紙の会の指導による「和紙の折 り紙体験」を行う。
	「和紙のハーバリ ウムづくり」	平成31 4月～6月 (予定)	「野鳥写真で伝える因州和紙の魅力展」関連事業 あおや和紙工房職員の指導による「和紙のハーバ リウムづくり」(ドライフラワーなどをオイル瓶 に詰めた観賞用グッズ)を行う。
	「ちぎり絵体験」	平成31 7月～8月 (予定)	「ちぎり絵展 和紙の愉しみIX」関連事業 色紙に因州和紙を貼りつけて、ちぎり絵を作る。
	「御朱印帳づく り」	平成31 6月(予定)	因州和紙を使ってオリジナルの御朱印帳を作る。
	あかり展出前講座 「出張ワークショ ップ」(仮称)	平成31年 6月～10月 (予定)	「因州和紙あかり展」関連事業 因州和紙あかり展一般部門、ジュニア部門への出 品に向けて、学校、地区公民館等に出向きランプ シェードづくりの制作指導を行う。
	わくわく夏休み体 験 「折り染め和紙で オリジナルうちわ づくり」	平成31年 7月～8月 (予定)	和紙に関する資料提供・説明と流し漉きで漉いた 和紙を折り染めにし、“自身作”のうちわを作る。 併せて和紙の歴史や製造技術などについての理解 も深めてもらう。
	「万華鏡づくり」 (仮称)	平成31年 7月(予定)	因州和紙を使って万華鏡を作る。
	「トークショー」	平成31年 9月～10月 (予定)	「ボールペンアート展」関連事業 現代美術家の永本冬森氏と著名人、和紙業者との トークショーを行う。
	「ボールペンドロ ーイングアートづ くり」	平成31年 9月～10月 (予定)	「ボールペンアート展」関連事業 因州和紙にボールペンを使ってドローイング作品 を作る。
	「切り絵づくり」 (仮称)	平成31年 10月 (予定)	因州和紙を使って切り絵作品を作る。
	「クリスマスカー ドづくり」 (仮称)	平成31年 12月 (予定)	因州和紙を使ってクリスマスカードを作る。
	「手すき和紙でお 祝いランチョンマ ットづくり」 (仮称)	平成31年 12月8日・ 15日 (予定)	体験者自身が和紙をすき、新年にふさわしいラン チョンマットを作成する。また、古来の遊びであ る「紋切遊び」で正月にふさわしい吉祥紋を切り 取りマットに漉きこむ。
	「手すき和紙で墨 流し(マーブリン グ)を楽しもう」 (仮称)	平成32年 1月12日・ 19日 (予定)	紙すき、和紙づくり体験と、自分で漉いた和紙を 使って墨流し(マーブリング)という染めの方法 を用いて和紙作品を作る。

区分	事業名	期間	事業内容
	「ハートのギフトボックスづくり」 (仮称)	平成32年 2月(予定)	因州和紙を使って切り絵作品を作る。
	「ランプシェードづくり①」 (仮称)	平成32年 1月～2月 (予定)	「因州和紙あかり展」関連事業 灯り作家の指導により、木と和紙を使って本格的なランプシェードを作る。
	「ランプシェードづくり②」 (仮称)	平成32年 1月～2月 (予定)	「因州和紙あかり展」関連事業 因州和紙を使ってステンドグラス風のランプシェードを作る。
	「青谷3館連携スタンプラリー」	平成31年 夏休み期間中 (予定)	青谷上寺地遺跡展示館、あおや郷土館、あおや和紙工場の青谷3館をめぐって、施設にちなんだクイズに答えてスタンプを集める。3館そろうとクジ引きができ、賞に応じた景品を進呈する。例年来館者に好評な事業であり、夏季の入館者増を図る。チラシは夏のイベント情報とともに送付し、3館の事業についても広く周知する。
	「わくわく体験学習受入れ」	平成31年 5月(予定)	青谷中学校2年生の「わくわく体験学習」を受け入れ、体験を通して社会への認識を深める学習を支援する。
	「因州青谷こうぞ紙手すき和紙保存会活動支援・共同事業」	通年	ユネスコ無形文化遺産登録を目指す因州青谷こうぞ紙手すき和紙保存会との協力・共同の活動を通じて、登録へ向けた活動を支援するとともに、職員の手漉き和紙技術の習得に努める。 《予定事業》因州和紙伝統技術研修会、楮栽培、原料づくり等
施設貸与事業	「西いなば再発見フォトコンテスト入賞作品展」	平成32年 2月(予定)	西いなば再発見フォトコンテスト入賞作品の展示を行う。
	研修室等貸出	通年	会議・研修等のために研修室等の利用を希望する団体等に対し、研修室・多目的ホールの貸出を行う。
	施設備品の貸出	通年	和紙業者・和紙組合等へ体験工房設置機材(断裁機・ビーター、ホーレンビーター・スクリーン・カレンダー・打解機等)の貸出を行う。
関連物品販売事業	ミュージアムショップの運営	通年	地元の因州和紙や和紙加工商品の販売、あおや和紙工房オリジナル商品の製作及び販売を行う。ホームページによる製品紹介と通信販売の拡大により、因州和紙の魅力を広める。特にショップのディスプレイを改善し、ショップの魅力の向上をはかる。



## 城下町とっとり交流館

区 分	事 業 名	期 間	事 業 内 容
施設管理 事業	指定管理	通 年	鳥取市との協定に基づき城下町とっとり交流館の管理・運営を行う。
展示開催 事業	<b>企画展</b> 「鳥取県民工芸品 大山焼久古窯展」 (仮称)	平成 31 年 4 月 13 日～ 5 月 12 日 (予定)	鳥取県の民工芸品である鈴木敏之氏の「大山焼久古窯」の作品を展示し、販売する。
	<b>企画展</b> 鳥取県伝統工芸士 展 「中山勘治 麒麟 獅子・能面展」 (仮称)	平成 31 年 5 月 18 日～ 6 月 18 日 (予定)	鳥取県伝統工芸士 中山勘治氏の麒麟獅子（ミニチュア）と能面を展示する。
	<b>企画展</b> 鳥取若手陶芸家作 品展 「鳥取 因幡焼」 (仮称)	平成 31 年 6 月 22 日～ 7 月 23 日 (予定)	鳥取県若手陶芸作家である三木健太郎氏の「鳥取因幡焼」の作品を展示し、販売する。
	<b>企画展</b> 「和紙あかり展」 (仮称)	平成 31 年 7 月 26 日～ 9 月 8 日 (予定)	因州和紙とあかりを融合させた遊楽隣工房の作品を展示する。 関連体験イベント「和紙あかりづくり体験」を夏休みに開催する。
	<b>巡回展</b> 「因州和紙・写真 プリント作品展」 (仮称)	平成 31 年 9 月 14 日～ 10 月 27 日 (予定)	あおや和紙工房で平成 30 年度に開催した展覧会の巡回展示を行う。
	<b>企画展</b> 「大工町の歴史」 (仮称)	平成 32 年 2 月 8 日～ 3 月 25 日 (予定)	大工町の歴史についてパネルで紹介する。
	「尾崎方哉展」	通 年	放哉蔵を活用して、市内の書道家が書いた尾崎放哉の句を展示する。軸装された原書を交代で展示する。
	「巡回展」	通 年	財団所管施設で開催する展覧会を巡回展示する。
	教育普及 啓発事業	<b>歳時</b> 端午の節句	平成 31 年 4 月 22 日～ 5 月 7 日 (予定)
<b>歳時</b> 七夕		平成 31 年 7 月 2 日～ 7 月 7 日 (予定)	入館者等に短冊を書いていただき、竹笹に吊るして 1 週間玄関先に飾る。 関連イベントとして、七夕コンサートを開催する。

区分	事業名	期間	事業内容
	歳時 月見	平成 31 年 9 月 15 日 (予定)	すすきと団子を飾り、来館者にすすきを提供する。
	歳時 正月	平成 32 年 1 月 26 日 (予定)	お正月にちなんだ詩吟を披露していただき、昔の正月遊び（福笑い・かるた・百人一首・こま回し等）を開催する。 協力：吟道翔風流日本吟翔会
	歳時 節分	平成 32 年 2 月 3 日 (予定)	前日の夕方、柊の枝・いわしの頭を串に刺したものを玄関先 2 ヶ所に設置し、福豆を提供する。
	歳時 ひなまつり	平成 32 年 2 月 24 日～ 3 月 4 日 (予定)	高砂屋近隣の方々から借用・寄贈されたひな人形を 2 階に飾りつけをする。 関連イベントとして、中嶋須美子氏のおはなし会（昔話）を開催する。
	季節の植物	通 年	玄関先、中庭の整備を行い、季節の植物を配置する。
施設貸与 事業	貸 室	通 年	多目的交流室（和室、板の間大・小、茶室、納戸）の施設貸出を行う。
	家財蔵	通 年	文化芸術の向上に資することを目的に、創作活動を行っている初心者に、作品の展示場として貸し出す。
関連物品 販売事業	ミュージアムショップの運営	通 年	鳥取市の民・工芸品や鳥取市の文化・観光・産業に関連した物品の販売を行う。 市民の憩いの場として、軽食・喫茶の販売を行う。

## 財団広報事業

区分	事業名	期間	事業内容
全 施 設 共 通 事 業	広報営業活動	通 年	鳥取市内・郡部の小・中・高校や、福祉施設及び公民館を訪問し、チラシ配布や営業活動を行う。
	ホームページ・SNS 保守・管理	通 年	財団ホームページ及び Facebook の保守・管理を行う。
	各種広告	通 年	日本海新聞、高速道路サービスエリア・道の駅、鳥取駅前地下道など各広報媒体を活用して施設の PR 活動を行う。
	各種協賛	通 年	しゃんしゃん祭りや池田家墓所写真コンクールなどの展覧会、イベントへの協賛を行う。

## 博物館等活用教育プログラム策定事業

区 分	事 業 名	期 間	事 業 内 容
全 施 設 共 通 事 業	博物館等活用事業	通 年	博学連携プロジェクトチームと連携し、各小・中学校に学習指導要領に基づいたプログラムを提供することで鳥取市文化財団の博物館等施設の利活用を行う。
	博学連携だよりの発行	年 2 回	財団各施設の展覧会やイベントを PR するとともに、博物館資料や郷土の歴史、博物館等の活用方法などを紹介する。

【公益目的事業 2】

鳥取市埋蔵文化財センター

事業名	原因者	調査内容	契約額(千円)	備考
鳥取市内遺跡 発掘調査事業	鳥取市	試掘調査事業 調査面積 600 m <sup>2</sup> 整理・報告書作成	8,225	試掘調査
鳥取市内出土遺物 整理事業	鳥取市	鳥取市国府町谷収蔵庫事業 運搬・再整理	2,057	新規事業
山手森谷上分遺跡 発掘調査事業	鳥取市 土地開発公社	河原町運動場整備関連事業 調査面積 4,000 m <sup>2</sup> 整理・報告書作成	51,980	新規事業
下段所在遺跡 発掘調査事業	鳥取県	砂防関連事業 調査面積 700 m <sup>2</sup> 整理・報告書作成	13,670	新規事業
早牛傍示境遺跡 発掘調査事業	鳥取県	ほ場整備関連事業 調査面積 1,000 m <sup>2</sup> 整理・報告書作成	25,124	新規事業
大井家ノ下モ遺跡 発掘調査事業	鳥取市	総路整備関連事業 調査面積 1,050 m <sup>2</sup> 整理・報告書作成	18,326	新規事業
埋蔵文化財発掘調 査管理運営事業	鳥取市	鳥取市補助金 埋蔵文化財センターの管理 運営	2,369	
合計	—	調査面積 7,350 m <sup>2</sup> 報告書作成 5 遺跡分	121,751	